東京大学情報基盤センター

利用成果報告書

提出日： 　　年　　月　　日

|  |  |
| --- | --- |
| 申込課題名 |  |
| 企　業　名 |  |
| フリガナ代表者氏名 |  | プロジェクトコード |  |
| 部　署　名 |  | 職名 |  |
| 利用計算機システム | **□Wisteria/BDEC-01　□Oakbridge-CX　□Oakforest-PACS　□Reedbush-L　□Reedbush-H**※利用した計算機に☑願います |
| 申込ノード数 | ノード | 利用期間 | 　　年　　月　～　　　年　　月 |
| 成果公開（※） | 1. 即時公開 | 2. 公開延期（成果公開予定： 　　年　　月） |
| 公開延期の理由 | * 上記で「2.公開延期」を選択された場合はその理由をご記入願います。
 |

※　本報告書の内容は原則公開され、センター広報・Web ページに公開されます。ただし、利用者の申出により最大で2年間公開を延期することができます

* 本報告書は、利用期間終了後1ヶ月以内に東京大学 情報システム部 情報戦略課 研究支援チームまでご提出ください。
* 本様式の変更はできません。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 受付日 |  　　年　　月　　日 | 受付印 |  |

**1．利用の概略（各項目数行）（明朝10.5pt，行間14pt以上）**

1）利用目的・内容

2）利用意義（企業利用の観点から）

3）スーパーコンピュータを利用する必要性

**2．成果の概要（明朝10.5pt，行間14pt以上）**

1）本利用で得られた成果（成果が得られなかった場合はその理由）

※ 内容を以下のうちから選択の上，計算機利用の観点から得られた知見を中心に記載してください。（最大1000字程度）

（ １．計算科学， ２．コンピュータ・サイエンス， ３．プログラムチューニング， ４．その他 ）

2）社会・経済への波及効果の見通し（数行）

3）その他の成果（数行）

**利用アンケートにご協力ください（利用アンケートは公開いたしません）。**

**（各項目数行）（明朝10.5pt，行間14pt以上）**

1）今後のご利用希望

1-1) 今後のご利用希望の有無（有・無）

1-2）理由

2）利用に関して有益であった事項

3）利用に関して生じた問題点

4）通常利用を継続する場合の問題点

5）情報基盤センターのユーザーサポートに必要なこと

6）利用に係る感想・改善を希望すること

7）本利用で得られた成果や公表予定の成果があれば，以降に記述をお願いします。